

|                   |                                                                                                                            |      |           |            |      |
|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------|------------|------|
| 取組名称              | 生物あふれるいのちの棚田を未来の子どもたちにつなぎ、約20年間多様な主体と連携・協働                                                                                 |      |           | 団体設立後の経過年数 | 19年目 |
| 応募取組主体名称          | 特定非営利活動法人棚田LOVERS                                                                                                          | 活動地域 | 兵庫県神崎郡市川町 | 応募取組の活動年数  | 19年目 |
| 取組主体の種別           | 企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他                      |      |           |            |      |
| 応募取組に関連する実行委員会特別賞 | サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞 |      |           |            |      |



## 取組の要旨

美しい棚田を未来の子どもたちにつなぐため、自然豊かな棚田や農村で、農薬・化学肥料を使わず、親子でお米を育てる体験、自然体験、野菜の収穫・料理体験、一緒に食事をいただく体験、子ども食堂、食育を行い、命（生き物）・自然の大切さ、食の重要性を伝えている。今まで、「棚田ノート」というオリジナル学習教材を活用し、①体感、②気付き、③成長の3段階のステップで5感を活かし、家でも手伝いなどを行う高い教育効果を出している。

## 実績の要旨

- ・2007年から今まで1000回以上の体験を実施し、12950人以上が活動に参加
- ・会員10名、継続寄付者20名、サポーター70名、応援団200名以上
- ・2025年：農林水産大臣賞「第9回食育活動表彰」、グッドギビングマーク認証取得（(公財)日本非営利組織評価センター）
- ・棚田や環境の動画を4種類作成し（そのうち2種類が2024年～2025年に環境教育・ESD実践動画100選選定）
- ・2023年：農林水産省主催のサステナアワード2023支え合い賞、2021年：日本自然保護大賞入選、2020年：棚田学会賞

|         |           |                                                                                                                                  |
|---------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取組評価の要旨 | 環境への貢献    | 年間を通じた棚田・里山整備により生物多様性豊かな棚田・里山が保全・再生されている（今まで23枚再生）。農薬、化学肥料を使わないお米作りなどにより、貴重種保全（専門家による調査により、活動している棚田、里山で植物等180種、水田29種、ため池10種川18種） |
|         | 社会・経済への貢献 | 町や自治会と共催で婚活（51組カップル、6組結婚）実施、14名以上が移住し、古民家も4か所再生中、姫路の商店街でブランド棚田米を普及                                                               |
|         | 地域資源の活用   | 景観、洪水調整、生物多様性保全、地滑り防止の機能を有する棚田を再生し、年間約60プログラムの環境教育の場としても提供                                                                       |
|         | 普及・汎用性    | 毎朝のライブ配信（月2回の昼と夜にも実施）を行い、snsで日々配信、NHK、新聞社等のメディアに180回以上掲載され普及                                                                     |
|         | 革新・ユニーク性  | 棚田で棚田♥子育てフェスを開催（約6150名以上参加）、56ページに及ぶ生物多様性棚田活動戦略作成、自分たちで編んだ縄で大綱引き                                                                 |
|         | 継続性       | 継続寄付者をタナーズという名称で募集し、現在20名、クラファンで10回以上、支援者200名以上、資金600万獲得、大学と連携し、若者に普及                                                            |

## 展望の要旨

10年以内に継続寄付者を100名【年間240万円（2000円×12か月×100名）】、新たな4名の後継者、市川町内の全棚田を地域の方々とともに再生。